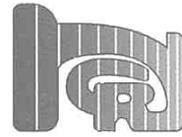


フィリア・レター

～ 真の友人からの手紙 ～



発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>



以前にも増して、救急車の受け入れ体制が整った!

中部ろうさい病院 堀田 饒

今日は、中部ろうさい病院に通院される患者さんとその家族にとっても、われわれ病院の職員にとっても嬉しいお話をお届けしたいと思います。中部ろうさい病院は、慢性疾患の患者さんだけを診るのではなく、急性期の患者さんの病状にも適切に対応出来る病院を目指し、今日迄鋭意努力して参りました。

急性期の病気とは、字句の通り病態が急変して救急車などにより搬送されてみえる、どちらかと言えば対応に緊急性が求められるものです。一方、救急車を受け入れる病院には、患者さんの病状に応じて、臨機応変に素早く、適切な対応の出来る医療スタッフと設備を整えて、24時間受け入れる体制づくりが求められます。

従来、愛知県では救急対応への一つの仕組みが設けられていて、それをメディカルコントロールと言います。この体制の規定により、重篤な患者さんの救急車による病院への搬送が制限されていました。特に名古屋市は、ほんの一握りの限られた病院にしか、心肺停止(CPA: cardio pulmonary

arrest) 状態の患者さんは搬送が許されていなかったのです。即ち、例え当院に日頃受診してみえる患者さんが心肺停止状態になっても、近くの当院への搬送は許されず、遠い病院にのみ許されるという変な規制がありました。誠に理不尽な掟でしたが、此度平成21年9月から名古屋市消防局の取り計らいにて、当院をはじめとして名古屋市内の多くの病院でも心肺停止状態の患者さんを受け入れることが認められたのです。限られた病院だけによる閉鎖的医療が開放された、新しい一頁を埋める、画期的な出来事と言えます。

中部ろうさい病院は、心肺停止に代表される重篤な患者さんが救急車で搬送されることが許され、それも適切に対応すべく一層の努力を務めて行きたいと思えます。長年の夢が適って、当院に通院される患者さんに、安心して安全な医療を提供出来る体制が整い、新しい年を迎えようとしています。2010年は、当院にとって救急元年の年とも言え、これ迄にも倍して良質で安心・安全な医療を患者さんに提供出来る病院にしたいと思っています。皆様からの温かいご叱責をよろしくお願い申し上げます。

今月号のお知らせ

- ①以前にも増して、救急車の受け入れ体制が整った!
.....中部ろうさい病院 堀田 饒
- ②新型インフルエンザ
.....第二呼吸器内科部長 松尾 正樹

③マンモグラフィ検診について

.....放射線技師 宮本 宏実
片桐 江美子

③医療ソーシャルワーカーをご存じですか?

.....MSW 竹内 里夏

④自分でできる寒さ対策 ~冬を暖かく過ごすために~

.....4階東病棟補佐 北川 恵

④編集後記